



九条の樹

112号
2025年6月発行



発行：東久留米「九条の会」 連絡先：Tel 042-473-9489（鈴木）
<http://higashikurume-9.net/> メール：higashikurume9j@gmail.com

憲法意識に変化？

若い人が改正反対 45%

5月3日憲法記念日に、新聞各紙は憲法に関する世論調査の結果を報道しました。新聞社により多少の違いはありますが、大体の傾向が見て取れます。

「毎日」では石破首相の在任中に憲法改正を行うことに「賛成」21%で「反対」の39%を下回ったと報じています。この調査では、すべての年代で「反対」が「賛成」を上回り、反対が最も多かったのが18〜29才で45%だったと言います。

「読売」の調査では憲法を「改正するほうがよい」とした人は60%（去年は調査63%）です。今

年戦後80年を迎えるにあたり、憲法が日本の社会で果たしてきた役割を「評価している」と答えた人は「大いに」と「多少は」を合わせて85%。（読売）

九条改正必要なしが過半数

「読売」「九条について」改正する41%
改正しない54%
（これまでどおり解釈や運用で対応42%、九条を厳密に守り解釈や運用では対応しない12%を合わせる）

「朝日」「憲法九条を変えたほうがいいですか」

変えるほうが良い35%
変えないほうが良い56%

少数与党が影響？

「読売」は『少数与党 しぼむ改憲発議』

「毎日」は『国会会遠のく改憲発議』と、タイトルにしています。

昨年の衆院選で、自民、公明、維新、国民が合わせても改憲を国会に発議できる規定の3分の2に達しなかったことが国民の憲法改正機運後退の原因とみています。

ロシアのウクライナ侵攻で「防衛力強化」の世論が高まったと言われますが、その後も終わらないウクライナ戦争、とくにイスラエルによる悲惨なガザ攻撃で犠牲になる市民の実情が毎日報道されるなかで、世界の人々、とくに若者たちが、現代の戦争の実態を知ったことが影響しているのではないかと考えます。

（東久留米九条の会 事務局）

市民集会パレードに170名

―軍拡は戦争への道、税金は国民生活に―



「戦争はイヤ！声をあげよう実行委員会」主催。気温29度の中、集会パレードに170人を超す参加者がありました。アメリカ言いに大軍拡と戦争準備を進める政治に危機感を感じた人々が集まりました。全レク一座の皆さんとコールハモレの皆さんの歌のオープニング。

中国との戦争で日本は先頭に立つとの米国国防相の発言にあるように戦争の危機が進行しています。戦争はしないとの憲法を生かして断固平和を守りましょうと主催者挨拶。ついで買い物客の多いイオンモールで自衛隊の宣伝（偵察用オートバイの試乗体験、写真撮影、自衛隊制服試着体験など）を行なっていることにに対し、抗議に行った方など、4人が発言しました。市議3人が参加し、永田市議が代表して発言。その後、

市役所からヨーカドーを周り、西口中央公園までパレード。解散地点では東京土建の皆さんが冷たい水を提供。暑さを凌ぐことができました。

◆市民スピーチ◆

上林幹雄さん（下里）

バタフライエフェクトとは、「小さな蝶の羽ばたきの役割」のことです。蝶が羽を震わせ飛び立つと小さな風が起きます。その些細な風、小さな動きが、やがては大きな結果につながるという意味です。簡単に言えば「大きな動きへの小さな始まり」と私は思っています。

『戦争が廊下の奥に立ってゐた』という有名な反戦句があります。日本が第二次世界大戦に参加する2年前に渡辺白泉という俳人が詠んだものです。気づかないうちに戦争は始まり、始めれば逃げることはできない、それが戦争です。戦争を直接知らなくてもその

怖さが不気味に伝わってきます。些細なことでも戦争につながる動きにはアンテナを張り、小さなうちに摘み取らねばなりません。

今日の市民パレード・集まりはそのための運動の一つだと思います。私たちの周りでも戦争への道につながるものがたくさん起きています。軍備拡大の予算も、身近なものでは若者への自衛隊への露骨な勧誘や宣伝活動もその一つです。先日、イオンモールに自衛隊イベントのポスターが貼られていたという通報が入り、今週16日に仲間が抗議し、撤去の申し入れを行いました。戦車や戦闘機など子ども達の戦争道具への憧れを助長するような動きは見過ごすことはできません。

いま戦争中のパレスチナ、ガザ市民の殺戮を繰り返すイスラエル、そのイスラエルで兵役を拒否する若者が生まれています。「子どもを殺すよりこちらを選ぶ、パレスチナ人へのジェノサイド（集団殺害）が起きているのに兵役拒否の理由など必要ない！」と宣言し、反戦への小さな始まりではな

いでしょか。

昨年被団協の皆さんがノーベル平和賞を受賞しました。私は戦後生まれです。大豆10粒が一日の食事だったことや、戦火の中逃げのびた様子など本を読んだりし、そのむづかさを感ずります。高齢化が進み戦争体験者が少なくなる中でその想いを語り継いでいく大切さを今ひしひしと感じています。

今日のような反戦平和の身近な集会で、これから始まるパレードで、地域全体に「反戦平和、平和を守れ」の運動が大きく広まっていくこと、それがバタフライエフェクトです。みなさんこの集会を成功させ、反戦への大きなうねりにしていこうではありませんか。

鈴木信太郎さん（小山）

東久留米九条の会事務局の鈴木です。私が、この頃おかしいなと思うことがあります。

先日政府の予算が決まりましたが、国会の議論でも、ニュース

の報道でも、予算の中で軍事費が過去最高の額に達したことに触れる議員が共産党以外一切ないことです。軍事費だけが昨年度に比べて9・5%増加です。社会保障、文教・科学、公共事業、中小企業は実質マイナスです。戦前の国会でも国防費の大幅増は大きな議論になりました。現在の日本の国会やマスコミでなぜ議論にならないのか。これがどう考えてもわかりません。この2月、石破首相はトランプ大統領に防衛費を今後とも抜本的に強化すると約束しています。

NHKはニュースで防衛費増加を言う時必ず「海洋進出を強める中国を念頭に」という枕詞をいいます。これを繰り返し聞くと国民は知らず知らずに「ああ中国がなア。しかたないか」となってしまうのではないでしょか。「生意気な中国を懲らしめるために軍備拡大だ」これは戦前の思考パターンと同じものです。

台湾をめぐる米中で紛争が起った時、日本が最前線で戦争を行う。ミサイルを撃ち合うことが

すでに想定されています。憲法九条のある国でこんな戦争は絶対許せません。市民、国民の手で平和を守り抜く必要があります。

田苗君江さん（金山）

私は日本国民救援会の事務局の田苗です。

みなさんには昨年9月の袴田事件の無罪判決に大きなご支援をいただき本当にありがとうございます。袴田効果ともいえるのでしょうか、乳腺外科医師冤罪事件も無罪を勝ち取りました。でも、冤罪で苦しんでいる人がまだまだたくさんいます。「私は悪いことはしていません、ましてや人殺しなどしていません、どうかも一度裁判をして無罪にしてください」と獄中からの叫びが聞こえてきます。

再審を妨げているのが「再審法」という制度で、明治時代からそのまま使われています。再審願いを出してもなかなか長い間決まらず、再審が決まったとしても、無罪の証拠を開示されず、裁判

に生かされません。今国会で再審法改正の動きが始まり、自民、公明も含む超党派での審議が、立憲の逢坂議員の呼びかけで山添拓さんらで改正の議論がされています。また、日本弁護士会でも、今国会で改正をと話し合われています。

そこでみなさんをお願いです。救援会では今国会に10万の署名を届けようと計画しています。市議会にも3回請願を出しましたが、10体11で3回も否決になりました。清瀬、小平、西東京、小金井、東村山などは採択されています。全国でも広まっています。

また救援会の活動に、我が国の進歩と革新、平和と民主主義を求める活動をして力を尽くされた先人たちの活動に対し、感謝と敬意を表し、その遺志を受け継いで活動することを誓い合う。3月18日に解放運動無名戦士合葬追悼会を開き青山墓地にプレートという形で合葬させていただいています。今年東久留米では阿部鐵夫さんが合葬されました。

戦争体験記

働いた少女時代

相沢サワエ（故人）

私は二十歳で上京してから
ずっと東京暮らしですが、
いまは上越市になっている中
頸城郡の青野で生まれまし
た。十一歳からは長野市川中
島町で過ごし6年後に青野に
戻りました。

敗戦の日の二日前、8月13
日の昼、長野市が空襲にあつ
て、私は桑畑のかげから駅や
町が炎上するのを遠くから見
つめていました。

あの頃国民学校の高等科で
したが、竹やり訓練や手りゅ
う弾の投げ方をやらされて、

B29が上空を飛んでいるの
に、先生たちはなんてバカな
ことをやらせるんだろうと
思っていましたよ。終戦は人づ
てに聞いて、負けちゃったの
か、と思いました。

犀川で泳いだり、浅間山の
ふもとまで遠足に行ったりは
しましたが、楽しいことはあ
まりなかったですよ。桃やり
ンゴの袋掛けを手伝ったりし
ました。

上越は豪雪地帯ですから、
電線に届くほど積もって、通
学路は大人がカンジキで踏み
固めてくれても下校時にはま
た積もっていて苦労でした。
それに妹を背負って通学する
日もあったのですから。竹ス
キーで遊んだこともあまりな
くて、1月15日のドンド焼き
（さいの神祭り）が面白かつ

たですね。

米どころですから、私も牛・
馬を操って農作業をやりまし
た。農閑期には仲間たちと紡
績工場に働きに出ました。

夏の盆踊りは米山甚句やら
好みの替え歌をうたったりし
て、若い人の社交の機会でし
たよ。スイカの産地で、番小
屋の目を盗んで食べる人もい
ましたが、今みたいに大量に
盗んで金にするわけではあり
ません。

とにかくみな貧しい時代で
すから、子どもも大人もよく
歩きよく働きましたね。高齢
者になった私たちを余計もの
扱いするような政治なんて許
せませんよ。

（年金者組合東久留米支部発
行「戦争を語りつぐ」から転
載させていただきました）

ーカンパのお願いー

東久留米「九条の会」賛同者の皆様、この会は発足から20年、イベントの参加費やカンパでこれまで運営してきました。イベントの開催や「九条の樹」発行にも資金が必要です。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※下記ゆうちょ口座までお振込、もしくは切手を事務局までお送りください。

郵便局からは：ゆうちょ銀行 記号 10080 番号 94935331 ヒガシノミヤコジヨウカイ
銀行からは：ゆうちょ銀行 支店番号 008 普通 9493533 ヒガシノミヤコジヨウカイ
〒203-0052 東久留米市幸町 5-6-5 東久留米「九条の会」事務局 鈴木 信太郎